

# 取扱施工説明書

シンプル ポストユニット 1型

デザイン ポストユニット 1型

## 【 お願い 】

商品の組立て、施工に従事される方を対象とした参考説明書です。  
商品を長く安全にお使いいただくための商品の組立て方法や施工方法をまとめたものです。本書をよくお読みいただき安全に正しく組立て、施工を行ってください。施工終了後は必ずお施主様に説明書をお渡しください。

# はじめにお読みください



この度は、商品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

- ・ 本説明書は商品の取扱い、施工について説明しています。
- ・ 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、予期せぬ不具合につながる恐れがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様にて施工をお願いいたします。
- ・ 本説明書は、必ず組立て、施工される方にお渡しください。  
施工終了後、必ずお施主様に説明書をお渡しください。

## 本書内の表記

### 警告／注意／お願い

- ・ 商品の組立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止する為、守っていただきたい事として、下記のような警告表記をしています。  
内容を良くご理解の上、商品の組立て、施工を行ってください。

表記	意味
 警告	製品の取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う事が想定される
 注意	製品の取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うか または物的損害が生じる事が想定される
お願い	製品の取扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、 製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、 操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

### その他の表記について

表記	意味
チェック	作業するうえで必要な情報
ポイント	知っておくと便利な情報
 電気工事	電気工事士の資格が必要な作業

- ・ 一部を除き、本書内の単位は「mm」で表示しています。

# 安全にお取り扱いいただくために (1)

## 警告

- ・ 電気工事は、電気工事士の資格が必要です。  
関連する法令・規定を厳守し、必ず電気工事士が行ってください。  
漏電による火災や感電など、思わぬ事故やケガにつながる恐れがあります。
- ・ 本説明書記載以外の組立て、加工、施工など、改造を行わないでください。
- ・ 電線は、折り曲げたり、はさんだり、傷をつけたりしないでください。
- ・ 電源は漏電ブレーカーを介して、必ず「D種接地工事」を行ってください。
- ・ 電球は必ず所定のワット数の物をご使用ください。
- ・ 電気配線の接続部は、絶縁・防水処理を行ってください。絶縁・防水処理を行わないと、漏電による火災や感電など、思わぬ事故やケガにつながる恐れがあります。
- ・ 温度の高くなる物の近くに取付けないでください。
- ・ 取付け方向、設置場所に指定がある器具は指定に従い取付けてください。
- ・ 電源は定格電圧を超えて使用しないでください。  
発火による火災や感電など、思わぬ事故やケガにつながる恐れがあります。

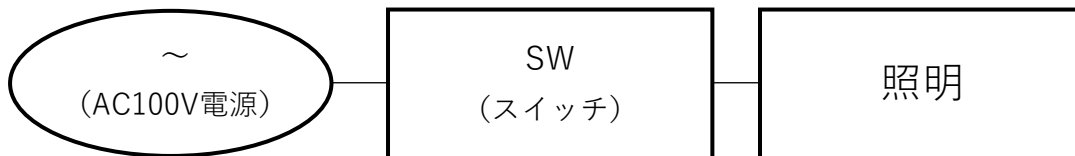
## 注意

- ・ 組立て、施工の際は、必ず同梱のネジを使用してください。  
異なるネジを使用すると、ネジの折れ、強度の低下、ゆるみなどにより、商品の落下や漏水など、思わぬ事故やケガにつながる恐れがあります。
- ・ 組立て、施工の際は、ネジをまっすぐに最後まで締め付けてください。  
締め付け不良は商品の落下や漏水など、思わぬ事故やケガにつながる恐れがあります。
- ・ 商品が破損、変形および傷がつかないように、取扱いには十分注意してください。  
破損、変形した商品を取付けた場合、思わぬ事故やケガにつながる恐れがあります。
- ・ 開閉時に扉が公道（道路面）などへ飛び出す場所には設置しないでください。
- ・ 開閉時には人や物などの障害物が無いことを確認して行ってください。  
思わぬ事故やケガにつながる恐れがあります。

# 安全にお取扱いいただくために (2)

## お願い

- ・ 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取付けないでください。  
商品が破損し思わぬ事故やケガにつながる恐れがあります。
- ・ 電気工事は電源を切った状態で行ってください。活線工事は、電装部品の故障だけでなく、感電など、思わぬ事故やケガにつながる恐れがあります。
- ・ 照明はスイッチを介して電源と接続してください。  
直接電源につないでしまうと、照明が点灯したままになり、照明器具の寿命が短くなります。  
さらに、照明交換やメンテナンスの際、感電や思わぬ事故やケガにつながる恐れがあります。



- ・ 清掃が必要な場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）をご使用ください。  
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液や有機溶剤を使用すると、腐食につながる恐れがあります。
- ・ 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）を使用した場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。付着したまま放置すると変色の恐れがあります。

## チェック・ポイント

- ・ 施工前に作業場所の整理整頓と同梱されている部品の確認を行い、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- ・ 作業を行う際は相応の人数を確保し、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽や目・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- ・ 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業の為に必要な措置を行ったうえで、安全に作業を行ってください。
- ・ 商品の保管は、必ず室内でおこなってください。やむを得ず屋外に置く場合は、湿気の無い日陰で平置きにして、防水シートをかけてください。
- ・ 照明の光がインターホンに入り込まない事を確認してお取付けください。  
照明の光により、映像が認識しづらくなる恐れがあります。

# 作業前の確認 (1)

## 同梱一覧

### 門柱本体

品名	門柱本体	LED内蔵 柱キャップ	柱キャップ	小トラスタッピン ねじ (Φ4×10)	取扱施工 説明書
照明なし本体	1	—	1	2	1
照明付き本体	1	1	—	2	1
備考	本体	照明付き	照明なし	柱キャップ 取付け用	共通

※「照明なし本体」と「照明付き本体」で同梱部材が異なります。

### ポイント

- ・照明付き本体の施工、もしくは別売インターホンの取付けには配線工事が必要です。配線の固定には結束バンドなど、固定する物があると非常に便利です。

※P04にて必ず必要な部材の記載がございます。合わせてご覧ください。

### ポスト (別売・参考)

品名	ポスト本体	取扱施工 説明書
個数	1	1
備考	—	—

### チェック

ポストや取付部品はセット商品の場合付属となります。詳しい内容は各商品に同梱されている取扱説明書をご覧ください。

### 取付部品 (別売・参考)

品名	スペーサー	六角ボルト (M5×40)	六角ボルト (M5×25)	ワッシャー (M5用)	スプリングワッシャー (M5用)	ターンナット (M5用)
AME-TA9V	2	4	—	4	4	4
MNR-A3	—	—	4	4	4	4

※上記のポストと取付部品は参考です。必要に応じて別途ご用意ください。

## 作業前の確認 (2)

### 施工前に用意していただく部材の確認

#### 照明付き本体を施工する場合

##### チェック・ポイント

- ・ 照明付き本体の施工には、照明用電線、合成樹脂製可とう電線管 (CD管呼び16) が別途必要です。

#### 別売のインターホン (ドアホン) を取付ける場合

##### チェック・ポイント

- ・ 別売のインターホンの取付けには、インターホン用電線、合成樹脂製可とう電線管 (CD管呼び16) が別途必要です。

※下記の早見表も合わせてご覧ください。

#### 施工時に必要な電線・電線管の早見表

機能ポール本体仕様	照明付き本体		照明なし本体	
	あり	なし	あり	なし
別売インターホンの取付け	あり	なし	あり	なし
照明用電線 (VVFΦ1.6×2芯) ・ 照明～電源間用	1本	1本	—	—
インターホン用電線 (注) (VCTF 0.45mm <sup>2</sup> ×2芯または3芯) ・ インターホン子機～親機間用	1本	—	1本	—
合成樹脂製可とう電線管 (CD管呼び16) ・ 本体～電源間用 および ・ 本体～インターホン親機間用	2本	1本	1本	—

※ (注) : インターホン用電線は、インターホンの説明書を参照し、適した電線をご用意ください。

# 柱の加工について (1)

## 装備品の取付け加工について

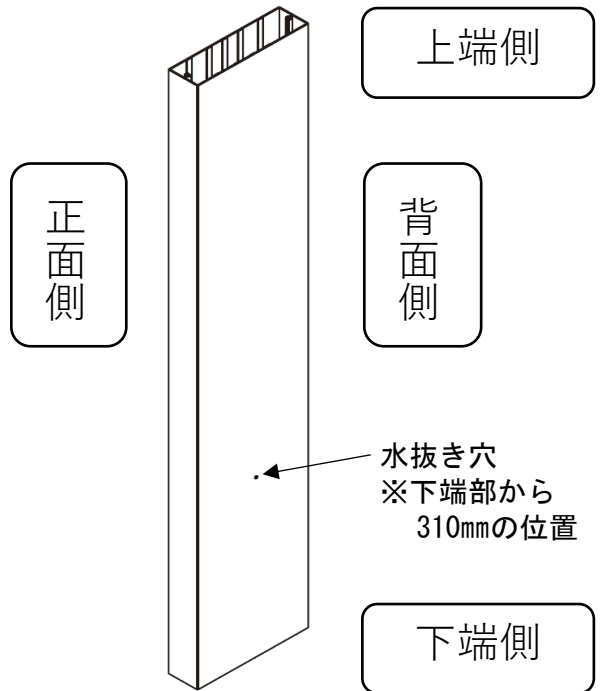
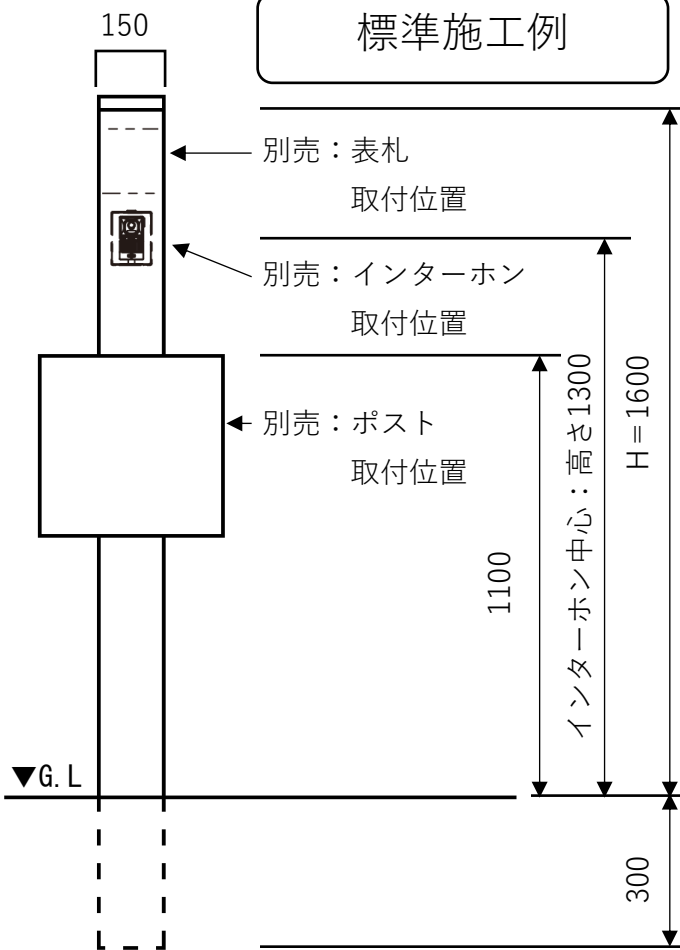
### 01：柱の正面側に穴加工してください。

- ・ポスト、インターホン、表札は任意の高さに取付けできますが、外寸を考慮し、それぞれが干渉しないように位置を決めてください。

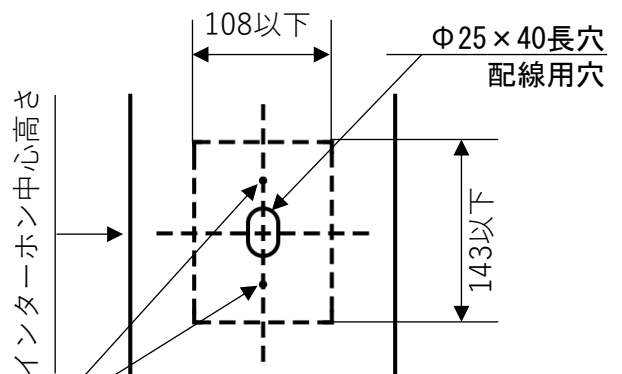
#### チェック

水抜き穴がある面は「背面の下端側」になります。埋込みを深くする場合、G.Lから10mm上に水抜き穴を設けてください。

#### 標準施工例



#### ● 別売：インターホン取付加工例



- ・取付インターホン台座をあてがってねじ込み用の穴位置を確認してください。  
※穴あけ後、バリを取り除いてください。

## 柱の加工について (2)

### ポスト、表札、インターホンの取付けについて

#### 02：表札の説明書を確認して柱を加工してください。

- ・ 表札は両面テープ取付けが可能な商品の場合、穴加工は不要です。  
外寸を考慮し、それぞれが干渉しないように位置を決めてください。

#### 03：ポストの説明書を確認して柱を加工してください。

- ・ ポストをあてがい、ねじ込み用の穴位置に印をつけ、穴あけ加工後にポストを固定してください。  
※ LIXILポストなど加工指示書がある場合、加工指示書を参考に穴あけ加工を行ってください。

#### 04：インターホンの説明書を確認して柱を加工してください。

※ インターホンの取付けは電気工事となります。P09、P12も参考にご覧ください。

### チェック・ポイント

- ・ 穴あけ前に必ず、取付け予定のポスト・表札・インターホンをあてがって、それぞれが干渉しないかチェックを行い、ポール本体に穴あけ加工を行ってください。
- ・ 使用しない穴は漏水の恐れがあります。不要な穴加工は行わないでください。
- ・ 穴あけ時に発生したバリは必ず取り除いてください。  
バリがあるとポスト等をねじ固定した際、ネジが浮き漏水の原因となります。
- ・ 装備品の加工に関しましては、取付け予定の装備品の取扱説明書をご確認いただき、穴あけ加工などの取付け準備を行ってください。
- ・ ポストに穴あけ加工を行った際は、ポスト内から切り粉を取り除いてください。  
切り粉が残っていると、ポスト、ポール本体のさびの原因となります。
- ・ 穴あけ加工を行う際には小さめの下穴加工（Φ3程度）を行ったあとに、Φ6の穴加工を行うなど、下穴加工を行ってから穴加工を行う事できれいに仕上がります。
- ・ ポストの固定は水平垂直で固定してください。  
勾配がある状態で設置を行うと、荷物を預け入れた際、中で荷物が移動したり、扉の開閉に支障が出るなど、不具合が発生する恐れがございます。

# 柱の埋め込みについて (1)

## 柱を埋め込む前にご確認ください

### ⊘ 注意

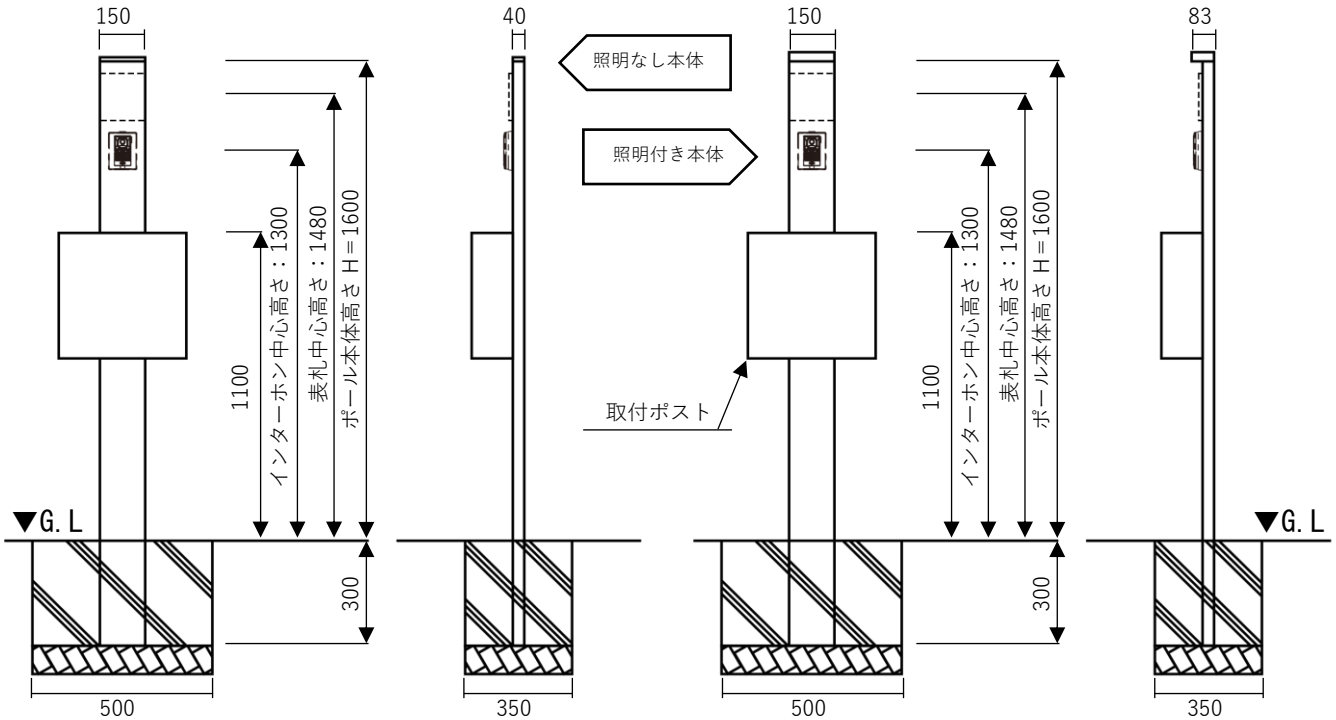
- ・ 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう、掘削に注意してください。
- ・ 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。
- ・ 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を建てると、柱内部に水が溜まり凍結破損や異常腐食につながります。
- ・ 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。地盤の支持力が得られず、商品の沈下や風による転倒で、外壁などの損傷につながる恐れがあります。
- ・ 基礎の根入れ深さは凍結震度より深くしてください。地面の水分が凍る過程で商品が押し上げられ、塀などの損傷につながる恐れがあります。標準施工より深く埋め込む場合、G. Lから10mm上に水抜き穴を設けてください。標準水抜き穴が埋まる場合、標準水抜き穴「Φ4.5mm」と同等の穴を設けてください。
- ・ 基礎コンクリートやモルタルには、腐食性の強い塩素系混和剤（急結剤など）や、強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながる恐れがあります。
- ・ コンクリートの強度が十分になるまで、過度な衝撃や荷重を与えないでください。強風などにより本体が揺れる恐れがある場合は、添え木などで補強してください。雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。（目安：4～7日）基礎の強度低下につながる恐れがあります。

### お願い

- ・ コンクリートやモルタルなどが商品の表面に付着した場合は速やかにふき取ってください。外観不良（シミ・汚れ・艶落ち）につながる恐れがあります。
- ・ 柱のレベル調整は、コンクリートやモルタルが固まる前に行ってください。固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下する恐れがあります。
- ・ コンクリートは十分に締め固めてください。ジャンカや空隙などが発生し、コンクリートの品質が低下し柱の強度が著しく低下する恐れがあります。

## 柱の埋め込みについて (2)

01：寸法図を参考に墨だしを行ってください。



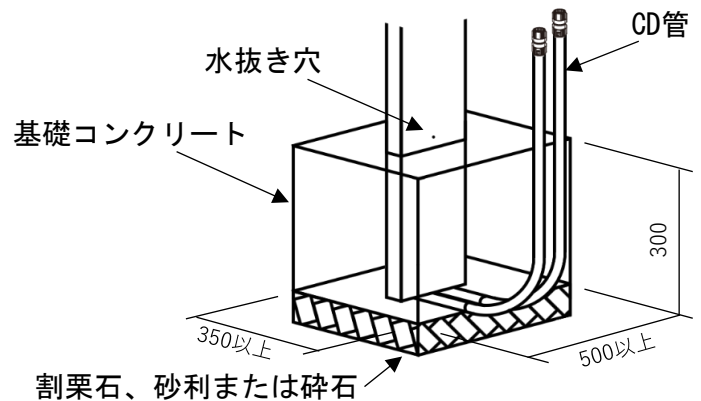
02：基礎穴を掘り、割栗石を敷き均して突き固めてください。

03：柱を立てて、水平・垂直・出入りを確認してください。

04：基礎穴に基礎コンクリートを打ち込んでください。

### ポイント

照明付き本体、別売インターホンを取付ける場合、別途CD管を用意し、基礎コンクリートを打つ前に機能ポール本体に通してください。また、柱の埋め込みと電気工事の時期が異なる場合は、雨水が入らないようにCD管の先端をビニールなどで塞いでください。



# 柱キャップ・インターホン取付け (1)

## CD管の配管・電線の配線

## 電気工事

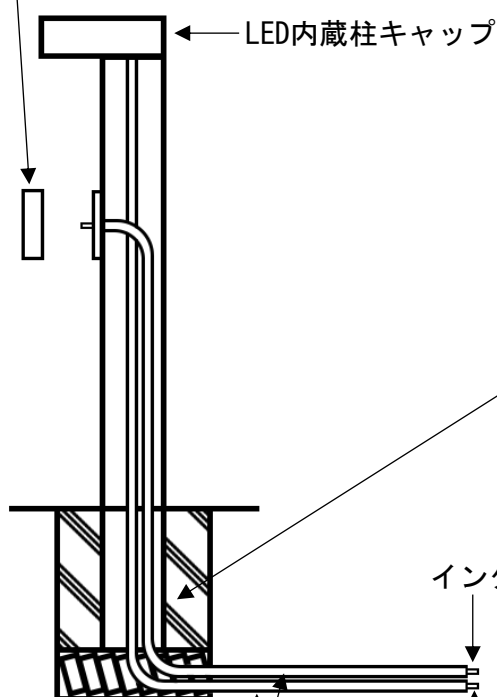
### お願い

- ・ 電気工事は必ずP02-P03の「安全にお取り扱いいただくために」をご確認のうえ安全に十分配慮して行うようお願いいたします。

### チェック・ポイント

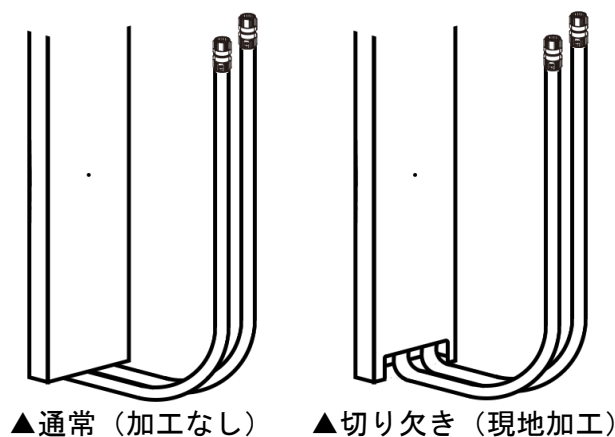
- ・ ホタルスイッチとLED照明を組み合わせ取付けた場合、スイッチオフの場合でもホタル点灯の微弱電流により、LED照明がぼんやり点灯することがあります。
- ・ CD管が干渉し、ポール本体を垂直に立てづらい場合、現地にて切り欠きを設けることで施工しやすい場合がございます。

インターホン子機※別途ご用意ください。



照明用電線 (VVF  $\Phi 1.6 \times 2$  芯) ※別途ご用意ください。  
CD管 (呼び径16) ※別途ご用意ください。

### ポイント

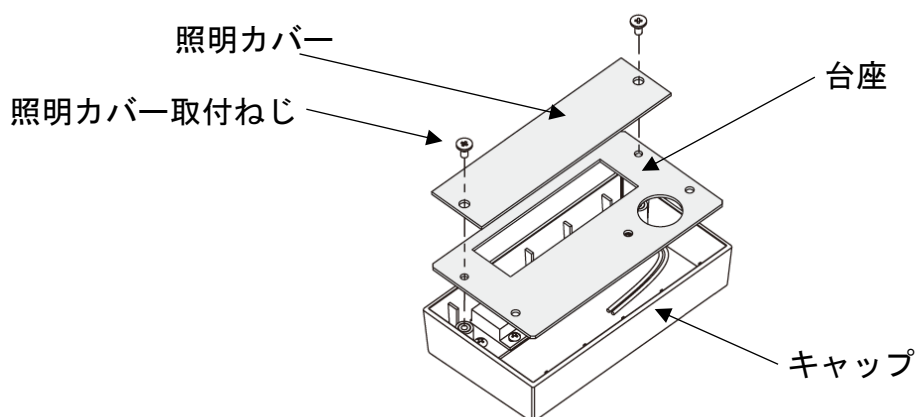


## 柱キャップ・インターホン取付け (2)

### LED内蔵柱キャップの取付け

⚡ 電気工事

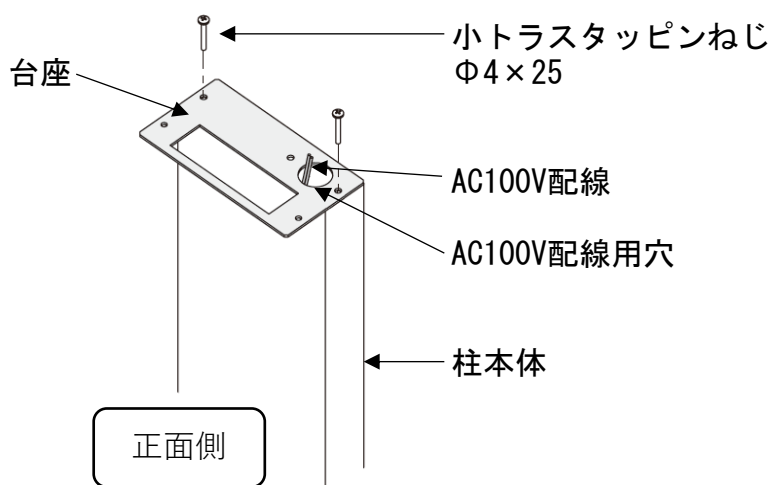
01 : LED内蔵柱キャップの照明カバー取付ねじを外し、  
キャップと台座、照明カバーを取り外してください。



02 : 取り外した台座のAC100V配線用穴を正面から見て  
右になるよう柱上端部に設置してください。

03 : AC100V配線をAC100V配線穴から出してください。

04 : 台座を同梱の柱キャップ用のネジで取付けてください。



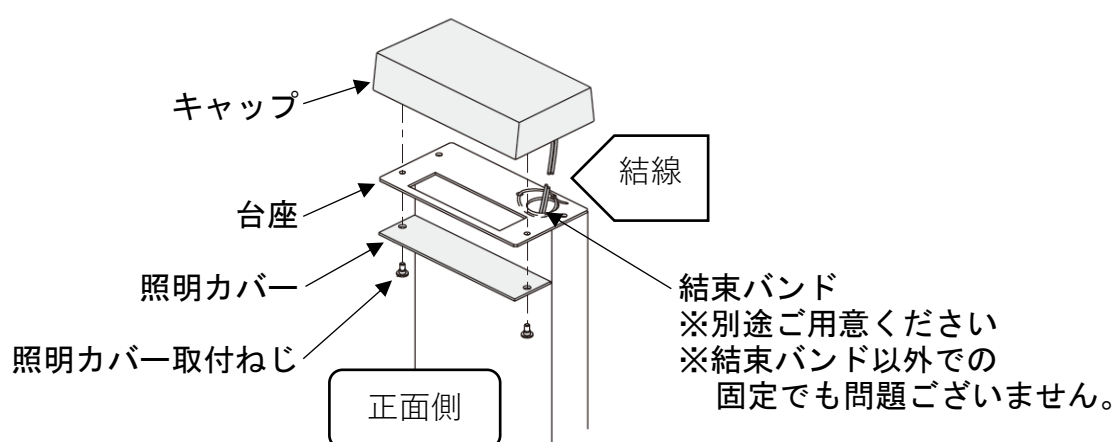
## 柱キャップ・インターホン取付け (3)

### LED内蔵柱キャップの取付け

⚡ 電気工事

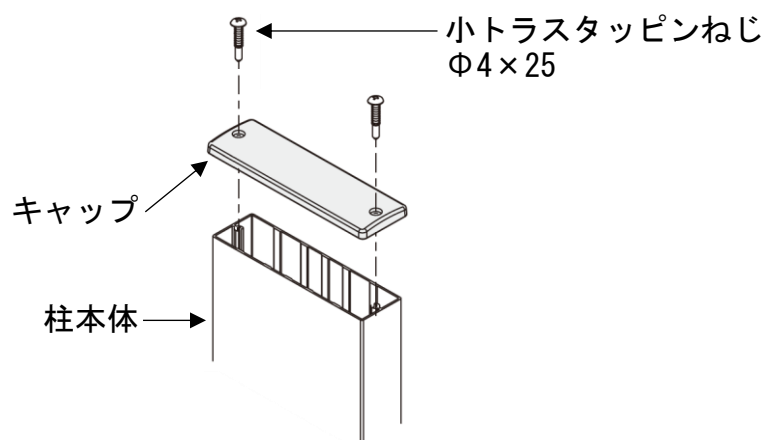
05 : 結線し、防水処理をしてください。

06 : 結線後、照明配線を結束バンドで固定し、01と逆の手順でキャップと照明カバーを取付けてください。



### 柱キャップの取付け (LED 照明無しの場合)

01 : 柱キャップを取付けてください。



# 柱キャップ・インターホン取付け (4)

## インターホンの取付け

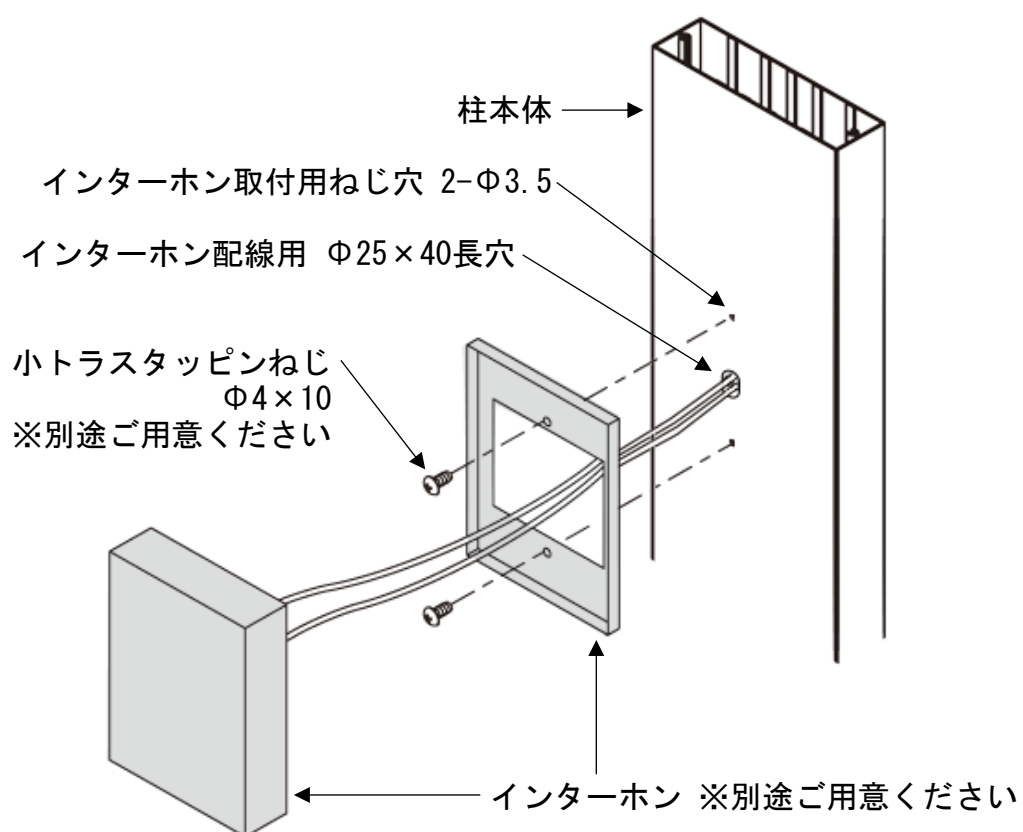
⚡ 電気工事

### お願い

- ・ 電気工事は必ずP02-P03の「安全にお取扱いいただくために」をご確認のうえ安全に十分配慮して行うようお願いいたします。

01 : インターホンの説明書を確認して取付けてください。

※こちらの施工サンプルはインターホン取付の参考例です。  
※ネジ穴・配線穴は説明書を参考に加工してください。





## お手入れ方法 (1)

### お願い

- ・ 質感を保つため、時々乾いた布で拭いてください。  
油汚れなどは、中性洗剤（1～2%の水溶液）を布にしみこませ、軽く拭きとってください。
- ・ 鉄分の付着により、もらい錆が発生することがあります。  
定期的なお手入れをお勧めいたします。

### 01：表面のホコリ・砂を落とす

- ・ 柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。

### 02：水拭きする

- ・ 柔らかい布またはスポンジで全体を水拭きします。
- ※ 水拭きでは落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。

### 03：水分をふき取る

- ・ 乾いた布で、十分に水分をふき取ります。

### ⊘ 注意

- ・ 有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）が表面に付着すると、ひび割れや剥がれなどが生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。
- ・ 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）が表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。  
付着した場合は速やかに洗い落としてください。
- ・ たわしや金属たわし等は傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。
- ・ 砂などが付いたまま拭き掃除をすると、表面に傷がつく恐れがあります。
- ・ 研磨剤入りのクレンザーなどは本体表面に傷をつける恐れがあります。
- ・ ポスト、インターホンなど、それぞれの説明書をよく読み、お手入れを行ってください。



## お手入れ方法 (2)

### 照明の点検・交換について

#### 警告

- ・ LED 照明が切れた場合は、ご自身で修理せず、必ずお取扱いの建築会社、工務店、販売店に修理を依頼してください。
- ・ 10年に1回は、工務店など専門業者による点検を受けてください。点検せずに長期間使い続けると、稀に発煙、発火、感電などにつながる恐れがあります。

#### 注意

- ・ 3年に1回は、工事店など専門業者による点検を受けることをお勧めします。
- ・ 1年に1回は、ご自身で点検してください。以下のような異常を感じた場合は使用を中止し、お取扱いの建築会社、工務店、販売店にお問い合わせください。
  - ・ スイッチを入れても、点灯しない事がある。
  - ・ 点灯中、点滅することがある。
  - ・ 焦げ臭いにおいがする。
  - ・ 点灯時、漏電ブレーカーが作動することがある。
  - ・ 商品に傷みやひび割れ、変形、ガタつきなどがある。



- ・ 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行していきます。点検・交換をお勧めします。
- ※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。

- ・ LED 照明には寿命があります。点灯時間の経過に沿って徐々に光量が減少していきます。明るさが購入時の70%以下になった場合は交換してください。一般的には40,000 (9時間 / 日 約4500日) 時間が交換の目安です。この数値は、あくまでLEDの設計寿命であり、その寿命を保証するものではありません。
- ・ 周囲温度が高く、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- ・ LED 素子には、光色、明るさにばらつきがあります。ご了承ください。

メモ欄